

(様式2)

## 平成 18年度人権文化担い手塾モデル地域補助事業実施計画書

協議会等名称：柘植地域まちづくり協議会

担当者名： 松村 元樹

電話番号： 0595-45-1911

### 1 学びの場の整備・運営に係る調査・研究

#### 1) 人権まちづくり構築のための柘植地域住民対象の研修会及び交流会の開催

人権まちづくりを調査・研究されている大学教授(有識者)から、人権のまちづくりの必要性や地域で取り組んでいくべき内容、他府県等で行われている事例などをレクチャー等の講義をいただき、今後の事業等に発展させていくための研修会を開催。

### 2 試行的に実施する学びの場の開設・運営

#### 1) 小地域(区)生活にあった互助、共助のシステムを構築することを通じて、人を大切にする心を育む環境づくりの推進と災害後の互助、共助の環境整備

災害弱者の救護救援の実情の把握

東海大地震等の災害に備え、特に災害弱者(障がいのある方、高齢者、外国籍の方)が柘植地域に何世帯あり、支援等を要する家庭はどこに何軒あるのかを把握するとともに、災害弱者家庭へ訪問し、直接聞き取りを行うことによって、家庭等がかかえる不安や支援・援助してもらいたい内容を把握する。さらに、安否確認・避難支援登録シートを作成し、災害時や訓練時に使用する個人情報として各個人に情報提供をしてもらうために全戸を訪問し、賛同していただける家庭においてはシートに記入してもらう(10月上旬~中旬)

地域住民によるネットワークづくり

自主防災づくりを推進するため、各区の代表と協議会が会議等の場を設け、災害に備えるための小地域住民によるネットワークを構築する(11月上旬)

柘植地域合同防災避難訓練

・ の取組を通じて、実際に柘植地域全戸での防災避難訓練を実施し、災害弱者見守りネットワークの機能性を図る(11月中旬)

外国籍の方との交流事業

柘植地域に在住する外国籍の方々と交流を図ることによって、人権意識の高揚をめざし、共に支え合う関係づくりを構築する(12月上旬)

### 3 学びの場の整備・運営のあり方に関する提案書の作成

1) 人権まちづくりに関する講演を受けての感想や各地区の課題等を出し合い、大学教授(有識者)にアドバイスをいただきながら、今後の実践や取組の方向性について整理する。

2) 2の事業実施のまとめ報告・報告書の作成(参加人数・アンケート結果集計等)